

置賜若人の夢を支援

－育英と郷土振興に役立つ－

平成に入り、明治以来の公益法人改革が国全体で実施されたことに対応して、平成 25（2013）年度に公益社団法人米沢有為会が新たに船出しました。

公益社団法人としての目的の再確認

公益社団法人への移行に当たり、目的を再確認して、定款第 4 条に次のように挙げました。

この法人は、育英事業その他の学術及び文化の振興等に関する事業を行い、置賜地方（米沢市、長井市及び南陽市並びに高畠町、川西町、小国町、白鷹町及び飯豊町）に関わる有為な人材の育成及び地域の福利の増進に寄与することを目的とする。ただし、政治上の事柄には関与しないものとする。

激変する社会環境のもとで

今日の少子高齢化、人口減少をはじめ、様々な社会環境の激変に対応しつつ、育英団体として活動を発展できるよう、今後とも模索しながらの取り組みが続きます。

会員が原動力となる活動

ここに有為会の活動の現状と今後について、ご紹介いたします。この節目に、「創立 130 周年活動ビジョン」を策定して、取り組んでいるところです。

郷土置賜の在住者や出身者を中心に、さらには会の趣旨にご賛同いただく様々なご縁の方を会員として迎えて、育英と郷土振興に資する公益社団法人としての活動への一層のご理解とご支援をお願いいたします。